# 山陰エリア（鳥取県・島根県）における観光型MaaS実証事業（山陰地域観光MaaSコンソーシアム）

観光地型

国土交通省 新モビリティサービス推進事業 先行モデル

## 実験の概要

鳥取県・島根県において、外国人観光客向けに1つのアプリ上でエリア内の観光情報（300か所）、交通（20事業者）・観光文化施設（50事業者）の周遊パス、経路検索・ルート提案、手ぶら観光、AI乗合タクシーの提供を行い、エリア内での周遊促進・消費拡大を目指す。

## 協議会の構成員

JTB、日建設計総合研究所、中国地域創造研究センター、未来シェア、日本ユニシス、名古屋大学、日本交通バス、日の丸自動車、一畑グループ、松江市交通局、境港市、安来市、米子市、松江市、出雲市、鳥取市、倉吉市、岩見町、鳥取県、島根県、鳥取県バス協会、島根県旅客事業者協会、山陰インバウンド機構、中海・宍道湖・大山圏域観光局

## 地域の交通課題

エリアを横断するJR山陰本線や一部の観光用の循環バス・遊覧船を除き、十分な交通ネットワークが整備されていないため、観光客の移動は不便なものとなっている。

一方、近年、当地域では、クルーズ船の寄港が盛んになっており、地域観光の起爆剤となることが期待される一方で、脆弱な地域公共交通が、その足かせになっている。

そのため、当地域では、市民生活の視点のみならず、地域産業振興に係る観光活性化の視点からも、MaaSを活用した地域公共交通体系の再生が重要な課題となっている。

## 本格的な導入に向けた検証項目、目標値

アプリのダウンロード数（4,000ダウンロード）、経路検索・旅程作成サービス利用者数（2,000人）・利用回数（3,000回）、周遊パス・交通パスの利用者数（1,000人）・利用履歴（5,000回）、AIオンデマンド乗合タクシーの利用者数（100人）・乗降回数（350回）、手ぶら観光の利用者数（100人）・配送個数およびエリア（150個）、購入場所・タイミング（1,000回）

## 実験内容

**実施エリア：**
鳥取県全域、島根県東部地域（松江市、出雲市、安来市）

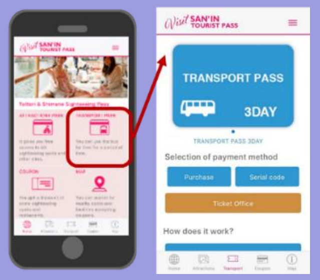
**対象交通手段：**
鉄道、バス、遊覧船、超小型モビリティ、レンタサイクル（20事業者参画）

**交通以外のサービス：**
観光スポット情報・飲食店・小売店情報提供（300か所）、観光施設入場パス（50事業者参画）、手荷物配送

**検索、決済：**
経路検索・推奨観光ルート提案、アプリ上でパスの購入可能

**実証期間：**
2019年10月1日～2020年3月中旬

その他：
MaaSアプリは4カ国語対応
（日本語、英語、韓国語、繁体中国語）
WEB購入以外にもエリア内20か所で
購入が可能




（アプリTOP画面、パス画面イメージ）